

第52号

発行：令和3年8月

会員数：188名（7月末現在）

（家族会員=18名、個人会員=170名）

発行責任者：飯田 秀

編集責任者：出口 孝次

松浦武四郎記念館友の会

友の会だより

友の会事務局：

松阪市小野江町383

松浦武四郎記念館内



「友の会」のHPは、松阪市HPの中にあります。

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/site/takesiro/tomonokai.html>

（松阪市で検索してね）

「役員を体験して学んだこと」 役員 河村 千鶴子



役員をさせて頂いた切っ掛けは、飯田会長からお話を頂いた頃、私が松浦武四郎にすごく興味を持ち、何度も記念館に足を運ぶようになり、ボランティア活動をしてみたいと思った時期でもあり、友の会役員をお受け致しました。何も分からない私ですが、会長始め役員の方々から貴重なお話を聞いたり、アドバイスを頂いたりしながら、毎回勉強させて頂いて居ります。

役員をさせて頂き、早三年が経ちますが、まだまだ自分の力のなさを痛感しています。

会長は12年の経験と他に多くの役を兼務され、いろいろな面で何事にも前向きに考え取り組む姿勢に、学ぶ事が多くあります。

これからも、松浦武四郎の業績を勉強して、役員として少しでもお役に立てるように努力していきたいと思っております。

また、一昨年から新型コロナウイルスの感染が治まらず、行事の縮小や中止で活動もままならない状況です。3密、検温、マスク着用、消毒を守り取り組んで居ります。今年に入ってワクチン接種も各地で実施されて居りますが、早く今後の活動が出来るようにと思うයි。

会員の皆様の協力あっての友の会活動だと思っております。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

令和3年度「総会」を「報告会」として実施しました！

令和3年5月9日（日）、小野江公民館に於いて武四郎講座が実施され、終了後に「報告会」が行われました。

今年は、二年続きのコロナ禍ということながら、講座が実施できるのだから感染防止をすれば総会もできるのではとも考えましたが、役員から、講座では講演後の質疑応答は無いから、総会は出来るのではとの意見があり、協議した結果、報告会にして、質疑はせず、文書等にて届けて頂くこととなりました。

当日参加頂いた皆様には、感謝申し上げます。

参加者は、30名でした。

質問などある方は、記念館が閉館中のため、誕生地へ届けて頂き、返答は、電話か書類で郵送しますと申し上げましたが、5月末までにご意見など出なかったの

で、了承されたものと判断し活動させていただいております。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。



報告会の最初に松阪市長のメッセージを代読する飯田会長

恒例の松浦武四郎記念館

友の会活動展示！



令和3年6月3日（木）から24日（木）まで、三雲ほっとギャラリーにおいて、毎年展示して頂いてはいますが、今年も松浦武四郎記念館友の会の活動をパネルや写真、新聞記事などで紹介させていただきました。ご覧頂いた方もおられると思いますが、写真で紹介させていただきます。



昨年、バスツアーで訪れた和歌山街道舟戸にて武四郎が泊まった旅籠跡や、旅籠の看板も残されていたのを見せて頂くことができたことなどを紹介してあるパネルを展示しました。



大杉谷へ設置された武四郎看板や大杉谷ダム湖に沈む前の写真。他に武四郎が詠んだ和歌の拓本。松阪市社協会長表彰を受賞した表彰状も展示しました。

「松阪の偉人たち展」開催

7月7日（水）から7月11日（日）まで、松阪市文化財センターのギャラリーにおいて、第7回松阪の偉人たちが2年ぶりに開催されました。

待ち望んでおられた方もあり、梅雨時の足下の良くない中、わざわざ足を運んでくださるお客様が沢山あり、ほとんど人がとぎれることなく見て頂きました。

友の会は、今回全体の受付をさせて頂いたので、一番玄関に近いところであり、ほとんどの方々にゆっくりご覧頂けたことは良かったのではないかと思います。

お越し頂いた会員の皆様、ありがとうございました。



武四郎が愛した蝦夷山桜の紹介。今年の4月にも美しい花を咲かせてくれました。エゾヤマザクラは、花の開花とほぼ同時に葉の芽も開いてしまう山桜ですが、沢山の花が枝一杯に咲くよう願っています。



今年は、展示スペースを考えて、コルクボードを用意し、より沢山の展示ができるように工夫致しました。毎年、同じ展示物になってしまうため、松浦武四郎という人を北海道の名付け親というところから、さらに日本国中を歩き、晩年には、天満宮へご神鏡を奉納するなどの活動を続けたり、大台ヶ原山にわけいり、修験者だけでなく一般の人々も登ることができる山となるよう活動したりしたことを知っていただけたらと思います。大杉谷へは、登山道を探っていたのではとされています。

会員懇談会のかわりにいただいたアンケートのまとめ

※今年はコロナ禍のため、ご意見を頂いた内容の取り組みが出来ず、来期の参考にしていきたいと思っております。みなさまありがとうございました。

- ① 市政バスツアーを利用して、昼食は、松阪社協の松阪支所が新しく完成しており、1階のカフェ「えみりあ」で食事を楽しんではいかがでしょうか。
- ② コロナ禍の中、活動は難しいとは思いますが、市政バスツアーや武四郎の足跡を訪ねるツアーに参加して、会員との再会を楽しみにしています。
- ③ コロナ禍が終息すれば、武四郎の神鏡を訪ねる研修バスツアーをお願いしたい。
- ④ 武四郎の足跡を訪ねるツアーは参加したことがあり、今年もお願いしたい。
- ⑤ 武四郎の足跡を訪ねるツアーをぜひ計画してほしい。(同様意見は4件ありました)
- ⑥ 武四郎が教わった「篆刻：テコク」体験を希望したいが、講師へのお礼など金額が2000円ほど掛かる。
- ⑦ 武四郎と交流のあった方の資料館や記念館から来て頂いた先生方の話も聞きたい。
- ⑧ 講師を外部からお招きして、武四郎の違った一面も知らせてほしい。
- ⑨ ベルファームの側に竹林街道が造られており、健康ウォーキングとして散策。京都の竹林に行った気分になると思っています。新聞に記載された記事も頂きました。
- ⑩ 健康ウォーキングを計画して、現地集合とし、近場を歩き、親睦と気分転換になればと思う。ベルファーム、松阪城公園など。桜などの咲く頃の名所。
- ⑪ 気候の良い時期に、芝生があるベルファームで親睦と交流を含めたグランドゴルフを計画に入れてはどうか？
- ⑫ 四五百の森拓本会の代表から、「第二回拓本体験会」を開催してはというお話をいただいた。
- ⑬ 今迄に友の会の活動や行事には何れも参加しており、今後も参加したい。
- ⑭ コロナ対策解除された場合と、されなかった場合との両輪から検討が望ましいと思います。
- ⑮ 今後もコロナ対策と3密にならないことを守り、現状通り活動をしてほしい。
- ⑯ 人生経験豊富な役員の方々、関係者のリードによる各種行事の実施について、今後も楽しみにしています。
- ⑰ 松阪市ホームページが変わっており、友の会コーナーや武四郎の生い立ちが分かりにくい。
→トップページ、文化スポーツ観光、武四郎記念館、武四郎記念館友の会についての順で。

【記念館からのお知らせ】

☆記念館講座のご案内(小野江公民館にて)

8月 8日(日)10:00～: 友の会主催講座

『北海道で松浦武四郎を』講師: 高瀬 淑子さん

9月 12日(日)10:00～: テーマ: 「未定」

講師: 山本命主任学芸員

10月 10日(日)10:00～: 未定

11月 14日(日)10:00～: 友の会主催講座

『松浦武四郎の読書と川喜田家』石水博物館桐田学芸員

12月 12日(日)10:00～: 未定

※新型コロナウイルス(COVID-19)の感染は、本県について8月1日現在、5800人(内松阪市だけでも269人)の感染が確認されています。県外からの入館者もあることから、多人数の会は自粛せざるを得なくなりましたが、小野江公民館大研修室をお借りし、感染予防を徹底した上で、人数制限をして実施する予定です。

※松浦武四郎記念館は、令和3年5月10日から、令和4年4月下旬まで、リニューアル工事のため休館しています。

☆松浦武四郎誕生地開館のご案内

武四郎記念館が休館中ですので、松浦武四郎誕生地の方へお越し頂け

ると、お話をさせていただきますので、事前にご連絡ください。主屋・離れに上がってご覧いただけます。

三雲地域振興局 Tel:0598-56-7905 武四郎記念館 0598-56-6847 (松浦武四郎誕生地につながります)

【友の会よりのお知らせ】

本年4月に小野江公民館がオープン、9月からも武四郎講座をここで開催することに！

松浦武四郎記念館がリニューアルするために休館されるということで、今後どうなるのかと心配されておられるのではないかと思います。講座は、小野江公民館の大研修室を使用することです。友の会主催の講座も計画し、11月に実施します。以前お招きして好評だった石水博物館の桐田学芸員が再び来ていただけることになりました。お楽しみに。



今後の予定

9月2日(木)「市政バスツアー」を開催します。7月にご案内したら直ぐに定員に達しました！

小野江公民館を出発して、北部学校給食センター、歴史民俗資料館、社協松阪支所での昼食、原田二郎旧宅、スケートパークを巡ってきます。参加費は会員1000円(弁当・お茶・障害保険・集合写真代)。募集人員15名。ご案内は、7月の武四郎講座にて配布いたしました。ご連絡が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

10月 11日(月)には、武四郎の足跡を訪ねて、「研修バスツアー」を開催します！

県外へのバス旅がコロナ禍の為に中止せざるをえないことから、県内での旅を計画しました。伊勢方面を考えております。主な行き先は、御師龍太夫邸跡(伊勢和紙館)、足代弘訓邸跡地、月夜見の宮、松田雪柯邸跡、徴古館、朝熊山金剛証寺、山田奉行所です。募集は、9月4日締め切りですが、定員が20名のためお早めにお申し込みくださいませ。参加費は、会員4000円、弁当、障害保険、集合写真、徴古館入館料も含まれます。

会費の納入について

令和3年度の年会費を、8月迄に納めることができなかつた方はなるべく早く納入をお願い致します。

口座振込みをご希望の方は、役員または記念館事務局 0598-56-6847 へお問い合わせください。

8月8日(日)には、松浦武四郎記念館友の会主催の武四郎講座を開催し、役員でもある高瀬淑子さんが、講演しました。テーマは「北海道で松浦武四郎を」でした。講演内容は、次号にて紹介します。お楽しみに。

次回の発行は、
12月の予定です。

